



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2021年1月28日

ウィザスの中等部・通信制高校で「すらら」導入 37 キャンパス、中1 から高3 までの約 6500 名が学習 不登校生徒の出席認定、SPI や論文対策にも活用

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：湯野川孝彦）の開発する AI×アダプティブ教材「すらら」が、2021年4月より株式会社ウィザスが運営する第一学院中等部・第一学院高等学校（本校所在地：茨城県高萩市、兵庫県養父市 理事長 生駒富男）で導入されます。

■株式会社すららネット 学校向けサービス <https://surala.jp/school/>

■第一学院中等部 <https://www.daiichigakuin-jr.jp/>

■第一学院高等学校 <https://www.daiichigakuin.ed.jp/>



すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、AI×アダプティブ教材「すらら」を、国内では約2,100校の塾、学校等に提供しています。全国の有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け代表的な EdTech スタートアップ企業として2017年に東証マザーズに上場しました。

株式会社ウィザスは、幼児から高校生ままでを対象とする学習塾事業、広域通信制単位制高等学校をはじめ ICT 教育・能力開発事業、企業内研修ポータル事業、ランゲージサービス事業、ヘルスケア事業等、幅広く教育関連事業に取り組むジャスダック上場企業です。

AI×アダプティブラーニング教材「すらら」は小学校から高校までの国語、算数/数学、英語、理科、社会5教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブな e-ラーニング教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人一人の習熟度に応じて理解→定着→活用のサイクルを繰り返し、学習内容の定着をワンストップで実現できます。初めて学習する分野でも一人で学習を進めることができる特長を生かし、小・中・高校、学習塾をはじめ、放課後等デイサービス等においても活用が広がっています。



NEWS RELEASE

2020年4月から2021年3月における高等学校4キャンパスの1年生、計220名のトライアル、中等部での導入を経て、2021年4月より、ウィザスが運営する第一学院中等部・第一学院高等学校37キャンパスの中学1年生～高校3年生、約6500名が「すらら」での学習を開始します。

中等部では、不登校生徒が「すらら」で学習することにより出席認定*を受けることを目指します。また、高等学校では高校1～2年生の学習習慣の確立、基礎学力向上、高校3年生のSPI対策や小論文対策、また、受験に向けて必要な基礎学力の定着など、それぞれの学年における課題解決を目指し、さまざまな活用方法に取り組みながら学習効果の向上を目指します。

第一学院高等学校 竹下淳司副理事長のコメント

第一学院中等部・第一学院高等学校では「1/1 (いちぶんのいち) の教育」を教育理念とし、「生徒第一」の想いを大切に「社会で活躍できる人づくり」に取り組んでいます。

第一学院には、スポーツ・芸能等の夢の実現と学業との両立を目指す生徒のほかにも、不登校や高校転校等を経験した生徒も多く在籍しています。入学時には自己肯定感の回復からスタートする生徒も多く、その対策の一つに学習面での基礎学力不足の解消があります。これまでは、一人ひとり苦手とする分野や状況が異なり、教員も生徒も時間と労力をかけている割には個別最適な成長環境には至らない現状がありました。

今般の「すらら」導入により、生徒一人ひとりの課題の根底にある個別最適な環境での基礎学力の効果的・効率的習得を可能にし、自信や自己肯定感を高め、将来の社会での活躍に必要な、生徒一人ひとりの『もっともっと自分を好きになる』自分づくりのサポート、課題発見・解決型授業などの自己教育力を養う学習時間の確保に傾注できるようにしていきたいと考えています。



すららネットは今後も、新しい学習体験を届ける事業活動を通じ、学習者に「大人になっても役に立つ真の学力」と「努力をすれば結果が出るという自信」を提供していきます。

*不登校生徒の出席扱いについて

文部科学省

義務教育段階の不登校児童生徒が学校外の公的機関や民間施設において相談・指導を受けている場合の指導要録上の出欠の取扱いについて

https://www.mext.go.jp/content/1422155_001.pdf